

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法特論		必修	2	4	前期 (集中) .後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
粕山 達也 他	D311	kasuyama		月曜日 13:00~14:30	
授業の目的・概要	4 年次前期までに学習した教科書知識の再確認を行い、定着を図ると共に臨床応用への方策を学習する。講義では、座学で修得したこれまでの知識の再復習を主に行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	過去に実施された国家試験問題を参考に、基礎医学、専門分野について講義と解説を行う。最低でも過去 10 年間分の理学療法士国家試験を事前に解答し疑問点を準備して受講して欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。				
参考書	特になし。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	理学療法士に要求される基礎医学知識を修得する。			PT (1) ~ (6)	
②	理学療法士に要求される臨床医学知識を修得する。			PT (1) ~ (6)	
③	理学療法士に要求される専門分野知識を修得する。			PT (1) ~ (6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	基礎医学のまとめ (運動学:運動系)「担当:関口 賢人」	講義	予習:運動学課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
2	基礎医学のまとめ (運動学:運動力学)「担当:遠藤 悠介」	講義	予習:運動学課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
3	基礎医学のまとめ (生理学総論)「担当:田中 将志」	講義	予習:生理学課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
4	専門分野のまとめ (神経系)「担当:高村 浩司」	講義	予習:神経系課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
5	専門分野のまとめ (内部障害系:循環系)「担当:関根 聡美」	講義	予習:内部障害課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
6	専門分野のまとめ (内部障害系:代謝系)「担当:甘利 貴志」	講義	予習:内部障害課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
7	基礎医学のまとめ (理学療法概論)「担当:三科 貴博」	講義	予習:リハ概論課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
8	基礎医学のまとめ (病理学)「担当:粕山 達也」	講義	予習:病理学課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
9	専門分野のまとめ (小児)「担当:粕山 達也」	講義	予習:小児課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
10	専門分野のまとめ (装具)「担当:三科 貴博」	講義	予習:装具課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
11	専門分野のまとめ (義肢)「担当:駒形 純也」	講義	予習:義肢課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
12	専門分野のまとめ (運動器系)「担当:関口 賢人」	講義	予習:運動器系課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
13	臨床医学のまとめ (整形外科)「担当:関口 賢人」	講義	予習:整形外科課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
14	基礎医学のまとめ (解剖学総論)「担当:坂本 宏史」	講義	予習:解剖学課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
15	これまでの学習の総括「担当:粕山 達也」	講義	予習:指定課題の実施 復習:講義ノートの作成	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①	✓	出題形式は五者択一（及び二）の国家試験形式にて客観的試験を行う。				試験終了後、解説を行う中で設問の意図と模範解答を示す。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	高村 浩司、坂本 宏史、三科 貴博、関口 賢人、関根 聡美、遠藤 悠介、田中 将志、駒形 純也、甘利 貴志						
教員の実務経験	理学療法士としての国家資格を有しており、臨床現場での必要な知識を網羅した授業を実施する。						
実践的授業の内容	国家試験内容に準じた出題範囲を整理するとともに、臨床実践場面を想定した各学問の応用方法と臨床思考過程について指導する						
そ の 他	<p>専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、3年次終了までに履修することができる必須科目の単位を全て修得していることが履修の要件となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義は、十分な感染対策を行い対面授業にて実施します。日程は別途連絡する。 大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される場合がある。 						